



鹿屋市周辺地域米軍再編問題対策協議会が、外務省、防衛庁、防衛施設庁に対して提出した要望書



額賀防衛庁長官に要望書を手渡す鹿屋市周辺地域米軍再編問題対策協議会会長の水迫垂水市長（1月31日）

鹿屋市周辺地域米軍再編問題 対策協議会が国と県に反対要望

1月24日、鹿屋市役所で鹿屋市と周辺市町の2市4町でつくる「鹿屋市周辺地域米軍再編問題対策協議会」の2回目の会議が開催されました。

この協議会は、米軍の移転問題を地域共通の問題として考え、米軍移転に反対し撤回を求めるため設置されたもので、同協議会の会長を務める水迫垂水市長、副会長の倉岡肝付町長、有留鹿屋市長職務執行者、奥園東申良町長、野元錦江町長、税所南大隅町長の6人で構成しています。会議では、騒音被害の増大は、

地域の基幹産業である畜産業に大きな影響があることや事故の危険性など、様々な問題が生じて地域住民の生活に重大な影響を及ぼすとして、国と県に対して米軍の移駐に反対する要望活動を行うことが決められました。

要望活動は、1月27日～1月31日にかけて実施。水迫垂水市長をはじめとする協議会の委員が、1月27日に県及び県議会、1月30日に福岡防衛施設局、翌31日に外務省、防衛庁、防衛施設庁に対して反対要望を行いました。

米軍空中給油機 移駐問題を 考える



沖縄県宜野湾市にある米軍普天間飛行場の空中給油機(KC-130)
[宜野湾市役所提供]

10月29日に発表された在日米軍再編に関する中間報告は、海上自衛隊鹿屋航空基地への米軍空中給油機の移駐や、他の基地の自衛隊機や米軍機が同基地を活用することが明記してあるなど、同基地の機能が際限なく強化・拡充されてしまう恐れのある内容となっています。

そこで市では、詳細な検証作業を通して意見集約を行い、地域の総意を3月の最終報告までに国に訴える予定です。

【問い合わせ】 市地域政策課 ☎ 0994-31-1154

鹿屋市米軍移駐問題に関する 意見交換会議を開催

1月20日、鹿屋市役所で米軍空中給油機の移駐問題に関し、市内の各種団体や周辺自治体など28団体から意見を聴く2回目の「鹿屋市米軍移駐問題に関する意見交換会議」が開催されました。

市が国に照会した82項目にのぼる質問書への回答（1月号に掲載）を踏まえて行われた会議では、「騒音により家畜に大きな影響がでる。対策を要する」というが、騒音については現状でも厳しい状況、「自衛隊の街が、軍隊の街に変わっていくのではないかと。反対運動など実践的な行動に出るべき」、「沖縄の負担軽減に協力したいが、安心・安全という点で、不安がある」など、反対の意見が大半を占めた一方、「日米地位協定が、改定されなければ容認できないが、改定されれば、容認も考えなければならない」、「受け入れざるを得ない場合、何らかの条件を付けることも大事」などの意見も出されました。

また、会議に参加する28団体の内、自治体を除く24団体に米

軍空中給油機の移駐について協議・意見交換を行ってもらった結果、

「反対」……………17団体
「どちらでもない」……………1団体
「回答保留」……………4団体
「その他」……………2団体
であることも報告されました。同会議については、2月3日に防衛施設庁より回答のあった50項目にわたる第2回目の質問書の回答を受けて3回目の会議を開催し、意見集約をする予定です。



活発な意見が交わされた意見交換会議（1月20日）

市民主催・市民手づくりの集会

空中給油機部隊移駐反対の市民集会を開催!

空中給油機部隊移駐に反対するための10,000人規模の大市民集会が開催されます。地域が一体となって、地域の声を政府に届けましょう。ぜひ、ご参加ください。

日時 平成18年2月26日（日） 午後 1 時～
場所 鹿屋運動公園（西原陸上競技場）

【問い合わせ】 市民集会実行委員会事務局 ☎ 0994-41-5641